

古四王神社

古四王神社は、建御雷神と大彦命という2柱の神が祀られている。これらの神は、列島全域に勢力を拡大するために朝廷が繰り広げた軍事遠征に関する古代の物語と関わりがある。朝廷の影響力が北方まで拡大したことを象徴したのだろうか、この神社はかつて社殿が北向きに建てられていた。

古四王神社は、733年に朝廷がこの地域への支配を強化するために設置した城柵である秋田城の歴史と密接なつながりがあるとされている。

古くから、古四王神社の氏子は肉、卵、牛乳を口にしないという誓いがあった。起源は不明だが、信仰的な実践として始まったと考えられている。また正月7日間は、村人は酒を飲んだり、村外で調理された食べ物を口にしたりすることも禁じられていた。肉、卵、牛乳に対するタブーは20世紀中頃まで続いた。